

国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター



地球と食料の未来のために

国際農研は、育種や栽培技術など、栄養改善に資する研究・技術開発を行うとともに、情報センターとして、フードシステムに関する国際的な情報を多角的に収集・分析し、科学的知見に基づいて情報を発信していきます。

<目標・取組>

- ① アジア等の開発途上地域において、在来作物や伝統食品の多様な特性や先端技術を活用して、新たなニーズに対応しつつ栄養改善に貢献するための、生産技術、育種素材、食品を開発します。
- ② 国境を越えて拡大する越境性病害虫の防除技術や養殖漁場の適切な管理による水産業の活性化を通じ、食料生産基盤の安定化・強化に向けた取り組みを実施します。
- ③ 深刻な食料・栄養問題に直面するアフリカ地域において、農業生産性や頑強性に資する技術開発を行い、稻作、畑作および畜産を含めた持続的な食料生産システムを構築します。
- ④ 栄養問題を含む農林水産業に関する国内外の情報を収集・整理・分析し、ウェブサイトやイベントを通じて広く社会に発信します。

<達成状況（2023末時点）>

環境に配慮しつつ収量を増加させる栽培技術を開発し実装することで、食料生産基盤の安定化・強化による栄養・食料安全保障に貢献した。また、栄養問題を含む農林水産業に関する国内外の情報を国際農研ウェブサイトや各種イベントを通じて広く社会に発信した。

<関連情報>

<https://www.jircas.go.jp/ja>

(東京栄養サミットアクションプランにおいて賛同した項目)

- | | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 食料システムの変革 | <input type="checkbox"/> 個人の栄養に関する行動変容の促進 |
| <input type="checkbox"/> 食関連産業のイノベーションの推進 | <input checked="" type="checkbox"/> 途上国・新興国の栄養改善への支援 |

【企業・団体の概要】

国際農林水産業研究センター（国際農研、JIRCAS）は、地球規模の食料・環境問題の解決に向けて取り組む、農林水産省所管の研究機関です。

問い合わせ先：国際農研 情報広報室 koho-jircas@ml.affrc.go.jp